

10月7日、秋晴れのもと第10回南九州市民体育大会が、知覧平和公園陸上競技場で開催されました。市内20地区の選手の皆さんが9つの採点種目により競い合いました。バロン（クレモナ）や茶製品袋を担いで走る競技も行われました。総合優勝は宮脇地区で、大会三連覇と強さを見せつけました。



大会結果

【総合・Aクラス】 優勝:宮脇 2位:川辺 3位:御領
【Bクラス】 優勝:清水 2位:別府 3位:浮辺
【Cクラス】 優勝:手蓑 2位:神殿 3位:知覧
【特別賞】 総合10位:上別府 総合20位:大丸



9月13日、庭月野キクエさんが100歳の誕生日を迎えられました。副市長が訪問し、ご家族と共に長寿をお祝いしました。おしゃべりが好きな庭月野さん。長生きの秘訣を尋ねると「大きな声を出すこと」と答えてくれました。ご家族によると、庭月野さんは歌が好きで前はよく歌っていたとのこと。また週3回のデイケアも好きで、日曜日に行きたいというくらい楽しみにしているそうです。



▲副市長から敬老祝金と花束が手渡されると、庭月野さんは両手でしっかりと受け取ってくれました。

9月15日、県内の男性最高齢者である新屋哲雄さん(川辺町永田)を三反園県知事と塗木市長が訪問し、ご家族と共に長寿をお祝いしました。新屋さんは現在107歳で、昨年のお米の種蒔きまで自分でされたそうです。知事から長生きの秘訣について聞かれると「くよくよしないこと。好き嫌いなく何でも食べて散歩など少し運動をして寝たきりにならないよう生活すること」と笑顔で答えていました。



▲たくさんのご家族が集まりました。県からはお祝い状と記念品が、市からは敬老祝金と花束が贈呈されました。

住 ～南九州市総合防災訓練～ 民参加の避難訓練を実施

9月2日、市総合防災訓練が額娃町別府の株式会社サナスの店舗前駐車場で行われ、防災関係機関、警察、医療機関、自主防災組織など合わせて1,800人超が参加しました。訓練は地震発生により警報が発表、市沿岸に高さ5mの津波が押し寄せるという想定で行われました。



▲消防団員に引率され避難する自主防災組織の皆さん。

新 ～イセエビ即売会～ 鮮な海の幸をもとめて！

9月9日、南九州市水産振興会によるイセエビ即売会が額娃町の石垣港で開催されました。当日は雨の中、早朝から多くの方が列を作り、漁解禁直後の



▲獲れたての活きのいいイセエビを購入するために、列を作る来場者たち。

獲れたてで元気なイセエビやゾウリエビを買いもっていました。新鮮なイセエビに来場者の皆さんも喜んでいました。

青 ～専門技術を活かして世界にはばたく～ 年海外協力隊員が出発の挨拶

9月19日、青年海外協力隊として10月から出発する額娃町在住の漣（さざなみ）舞さんと川辺町在住の五反田えりなさんが来庁し、副市長に出発の挨拶を行いました。漣さんは写真の専門家としてペルーへ、五反田さんは看護師としてスーダンへ2年間派遣となり、現地で技術指導を行います。



▲ペルーへ派遣される漣舞さん（左）と、スーダンへ派遣される五反田えりなさん（右）。

地 ～道路愛護優良団体表彰伝達式～ 域全体で道路を大切に

9月21日、道路愛護に顕著な功績のあった団体をたたえる伝達式が市役所で行われ、国土交通大臣賞を手養自治会が、県知事賞を本別府大久保自治会が



▲賞状を手にする村岡英喜手養自治会長（左）、東篤本別府大久保自治会長（右）と自治会の皆さん。

受賞。高齢化・過疎化の進む中、長年にわたる集落全体での道路の安全管理・景観づくりへの取り組みが認められました。

み ～神殿地区運動会～ みんなで楽しく「行たっみろ会」

9月23日、旧神殿小学校校庭で神殿小閉校以来2年ぶりに「行たっみろ会」が開催されました。「走らない運動会」をコンセプトにした、みんなが楽しめる種目に市内外から多くの人に参加し、最後は参加者全員に手打ちそばが振る舞われ、会場には笑顔があふれました。



▲子どもからお年寄りまで、神殿地区の皆さんを中心に多くの人に参加しました。

み ～瀬世上自治会のソーロイ～ みんな元気に「ソーライ」

9月24日、瀬世上公民館でソーロイがありました。瀬世上自治会ではソーロイが途絶えた時期もありましたが、今では女の子も一緒になって踊っています。ソーロイの後は相撲や綱引きも行われ、明るく楽しむ子どもたちの姿に、地域の皆さんも元気をもらったようでした。



▲笠と腰ミノを身に付けソーロイを踊る瀬世上自治会の子どもたち。